

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と倫理		選択	1	1.2	前期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇		kyoumu	チャットにて随時受付		
授業の目的・概要	<p>1. 目的 本科目は、受講生が現代社会の応用倫理的諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。</p> <p>1) 倫理とはなんだろうか？ それは良く生きるための道標である。私達は、時に生き惑い、苦悩彷徨する。その時、一灯の光が、私達に確かな道を指し示してくれる。それが倫理的素養である。</p> <p>2) 企業・官公庁等に就職する人はもちろんのこと、療法士を目指す人にとっても、現場で倫理的な判断を迫られる場面が多くある。そこに所与の正解はない。ないけれども、何とかしなければならぬ。あなたが、その難局を、ともかくも打開しなければならぬのである、さあどうするか？</p> <p>3) 本科目をクリアすれば、確かな倫理的指針を得ることができよう。大方の受講を強く勧める。</p> <p>2. 概要 講義 5 回、それを踏まえ Active Learning 3 回、の順に積み重ねていく。</p> <p>1) まず、①倫理学の基本、②現代社会における応用倫理的諸問題、③うち特に生命倫理的諸問題、の順で 5 回連続講義を行う。</p> <p>2) その後、①Group Presentation、②Group Debate、③Total Discussion という 3 つのスリングな企画がみなさんを待っている、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> レゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	<p>1. 国内外の応用倫理的な諸問題をキャッチできるよう、高感度のアンテナを張っておくこと。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point Sheets を事前に up するので、予め目を通しておくこと。</p> <p>3. 事後の課題は、自分から調べ考えなければならないが、とても力がつくので、めげずに行うこと。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	倫理学について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
②	現代社会における応用倫理的諸問題について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(5)	
③	生命倫理等に関し、様々な角度から調査・考察・発表・議論することができる。			HSU(3)、(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance. 倫理を学ぶ (道徳・法律等との異同、義務論、帰結主義、徳論)。	同時双方向 遠隔 講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	2	
2	現代経済倫理を学ぶ (企業倫理、身心倫理、地球倫理)。	同時双方向 遠隔 講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
3	現代国家倫理を学ぶ (政府倫理、家族倫理、世界倫理)。	同時双方向 遠隔 講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
4	現代意識倫理を学ぶ (科学倫理、情魂倫理、存在倫理)。	同時双方向 遠隔 講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
5	生命倫理を学ぶ (全体像、産まれる、生きる、死ぬ)。 Active Learning (AL) のための Guidance.	同時双方向 遠隔 講義	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
6	AL1 : Group Presentation.	同時双方向 遠隔 発表	指定課題に取り組む。	4	
7	AL2 : Group Debate.	同時双方向 遠隔 対論	指定課題に取り組む。	4	
8	AL3 : Total Discussion.	同時双方向 遠隔 討論	指定課題に取り組む。	4	

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

試	期末 Report.		
---	------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	40	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の力量に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	[Presentation 力、Debate 力、Discussion 力] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・質疑応答の力量に着目する。	Comment を付け、結果を公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の力量に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	なし。
実践的授業の内容	なし。
そ の 他	1. 授業は Teams を用いた遠隔方式で行う。課題等も Teams を用いる。遠隔の受講・発表等の操作に慣れておくこと、よくわからないときは、他の受講生・演習や学年担当の先生・事務の方、などに、早目に相談すること。および通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を強く勧める。 2. 受講人数、授業進展状況、授業環境等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。